

## 令和 8 年度 上下水道局 X 方針について

### ■ 局区 X 方針

#### (概要)

局長・区長等を中心に局・区の経営的課題を自己点検し、変革課題とその解決に向け当該年度の取組事項を定めたもの。

#### (目的)

- ・ 局長級職員のリーダーシップ発揮による自律的な変革の推進
- ・ 局内職員への変革マインドの意識づけ
- ・ 外部公表による市政変革に関する市民への理解浸透と検討過程の透明性の確保

なお、取組みの進捗によって、抽象的な課題がより具体化した場合等で、課題の追加・変更が必要となれば、進捗等の公表にあわせて、適宜 X 方針を修正する。

### ■ 令和 8 年度 上下水道局 X 方針

#### (1) 課題数 全 3 件

課題領域	A レベル	B レベル	C レベル
課題数	1 件	1 件	1 件
政策分野	上下水道	上下水道	上下水道

A レベル・・・行政サービスにおける現場の改善等にかかる課題

B・C レベル・・・政策的な変革課題

(Cはより広域、将来を見据え、全庁横断的な視点を要する等)

#### (2) 主な課題・取組内容等

##### ・ 課題 A 給排水工事申請の効率化

(資料 1・P 3)

- 民間事業者は、給排水工事申請を行うため開庁時間に来庁する必要があることに加え、窓口対応人員に限りがあることから、申請多数の場合は待ち時間が生じている。
- また、申請内容に不備がある場合には修正後に再度来庁する必要もあり、民間事業者への負担が大きく、事業者から、申請に関する簡素化、効率化について要望を受けている。
- このため、既存の申請フローを見直すとともに、給排水工事申請に係る具体的な効率化手法を検討のうえ、DXを活用した時間、場所に制約されない給排水工事申請の実現を目指す。

・ **課題B 株式会社北九州ウォーターサービスとの連携強化** (資料1・P4)

- 上下水道事業における次世代への技術継承等の課題対応のためには、市と一体となって上下水道事業を担う株式会社北九州ウォーターサービス（以下「KWS」という。）との更なる連携強化が必要である。
- そのような中、令和7年度はKWSを公民連携パートナーである政策連携団体と位置付け、KWSの業務運営に関する連携協定を締結するなどの取組みを実施した。
- 令和8年度については、以下の取組みを行う。
  - ・ KWSと本市が共同して上下水道事業を担っていくため、KWSの業務範囲拡大に向け、人事交流の検討やKWSにおける人材確保・人材育成等、課題共有・解決に向けた協議を行う。
  - ・ 他都市からの受注拡大に向けた情報収集、調査等をKWSと協働して行う。

・ **課題C 将来にわたる上下水道事業の健全経営やサービス水準維持の実現**  
**(経営環境の変化への対応)** (資料1・P6)

- 収入の減少や施設の老朽化、ベテラン職員の退職などの課題がある中、将来にわたり、持続可能な上下水道サービスの確保のため、適正な事業計画や財政計画、収支改善策や運営体制などについて検討する必要がある。
- そのような中、令和7年度は、「北九州市上下水道事業中期経営計画2030（令和8～12年）」を策定するとともに、政策連携団体への業務範囲拡大や、芦屋町の公共下水道事業事務委託に関する協議を実施した。
- 令和8年度については、以下の取組みを行う。
  - ・ 昨年度に引き続き、現状分析や、他都市調査の検証等を行うとともに、受け手側（政策連携団体や事業者）からのヒアリングを通じた検討を進める。
  - ・ 下水道事業においては、令和9年度以降の芦屋町の下水道施設の維持管理に係る民間委託の手法も検討する。
  - ・ 将来の水需要の推計やコンパクトシティに向けた方向性などを踏まえ、施設の統廃合又は廃止による施設規模の適正化を検討する。